

札幌大谷大 河合 投球術で勝負

河合



投球練習に熱がこもる札幌大谷大の河合投手。このエース河合の「ハンマー」打ちを打つ投手陣

初の1部参戦・3年生エース
9年連続都市対抗出場・神田監督直伝の技巧見せる

○札幌六大学野球春季リーグ戦○V第1節

日時	第1試合	第2試合	第3試合
4.30	大谷大	札幌大	大谷大
4.31	道大	札幌大	道大
5.1	道大	札幌大	道大
5.4	道大	札幌大	道大
5.5	道大	札幌大	道大
5.6	道大	札幌大	道大

▽第2節

日時	第1試合	第2試合	第3試合
5.19	道大	札幌大	道大
5.20	道大	札幌大	道大
5.22	道大	札幌大	道大
5.25	道大	札幌大	道大
5.25	道大	札幌大	道大

※球場は全て札幌円山。試合開始は第1試合8時30分、第2試合11時、第3試合13時30分

札幌六大学野球春季リーグ戦は30日、札幌円山球場で閉幕する。創部8年目の札幌大谷大が初めて1部に参戦。エースの河合大輔投手（3年、札幌光星）は、社会人野球の都市対抗に9年連続出場した神田幸輝監督（46歳）の投球術を誇る。昨秋の明治神宮大会を制した札幌大谷大と同様、守りからリズムをつかむ野球で旋風を巻き起す。

昨秋2部で5勝

技巧派投手が1部参戦に心を躍らせている。どこみくらい通用するか楽しみ。球が速くても抑える投手手でもいなくても「う」と河合。最速137km/hながら制球力と投球術には絶対の自信を持つ。左腕エースとしてサンワード園野とJリーグ北海道で9年連続都市対抗に出場した神田監督の下、打者との駆け引きを磨いた。1年生の時監督が何を言っていたのか分からなかった。練習が、ノートに書き留めた言葉。を授業の合間に読み返し、昨年開戦。秋季2部

「ハンマー打ち」成果も

リーグ戦は9試合登録で「に教わりたい」と飛び込んだ札幌大谷大で半端なだけの投球術だけでは。ハンマーで地面を叩く良いフォームで効率の良いフォームを身につけた。元プロ野球・西鉄の捕手で西武などでコーチを務めた故郷札幌出身の神田監督も指導を取ったり、状況に合わせて打ち取る「ハンマー」が伝授されて遠投時代「毎日練習したメニュー。下半身と上半身の連動を高める河合も投げたい」ところだった。効果を実感している。系列の札幌大



◇河合 大輔（かわい・たいすけ）1989年（平11）3月18日生まれ。札幌市出身の20歳。平岡公園小1年の時に平岡カウボーイズで野球を始める。平岡中時代は北広島

シニアに所属。札幌光星時代は2年夏と2年秋に全道大会に出場した。札幌大谷大では1年春から登板。家族は両親と兄2人。1年78、78。右投げ右打ち。

谷高が昨秋の明治神宮たちもやるからには、大会で初出場初優勝し、勝一戦必勝で戦いた。たことに刺激を受け、「守りからリズムをた。強い相手にも勝つ。つくるチームを、そのず、攻めていった。その右腕と頭脳でけん引するのは間違いない。自分。石川 加奈子



初の1部リーグでの活躍を誓う札幌大谷大ナイン